

～木曽川河畔空間整備に向けた対話の場～

河畔 de カタリーヴァ

テーマ：デザインしよう！河畔空間

11月2日（水）の夜、臨江館で、木曽川河畔空間整備に向けた対話の場「河畔 de カタリーヴァ」の第3回を開催。参加者は事務局・スタッフを合わせ29名でした。

この日、まず最初にデザインを考えるポイントや事例紹介のレクチャーを聞いたあと、一人ひとりが思い描く河畔空間のイメージを絵カードに描いて披露。そして、グループで1つのコンセプトを考え、河畔への想いをデザインしました。

スライドショー de 事例紹介

川から道、建物が建っている部分も含めた河畔空間を、観光客、住民、宿泊者など、どこで、誰が使うのか、人の流れを意識してイメージしてみてください！
また、川の見え方やお城の見え方も意識して考えてみてください！



IDEC 伊藤さん

山田市長

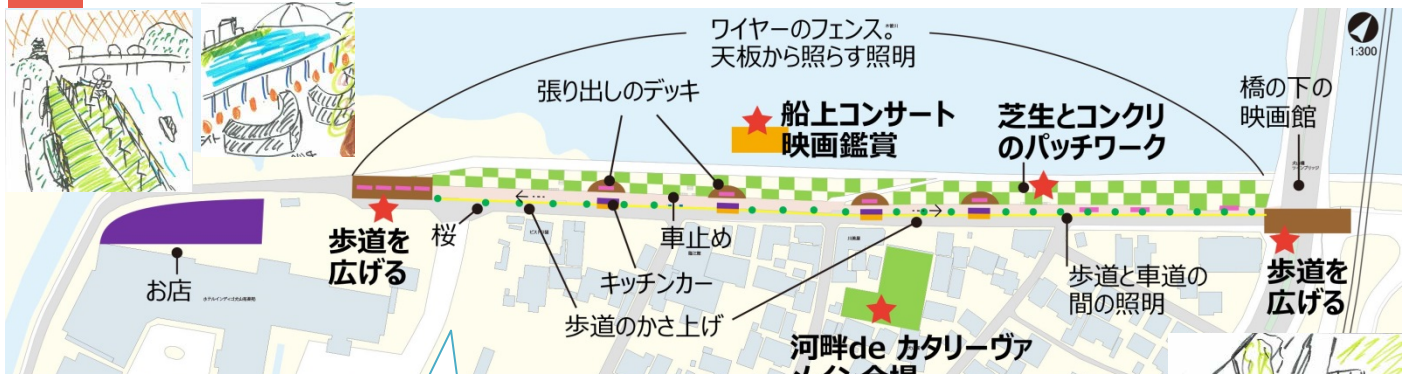


木曽川があるからこそ国宝犬山城や城下町がある。潜在力がある木曽川河畔の空間をどう磨き上げ、魅力や価値を高めていくか、みなさんと一緒に考えたい。単なる遊歩道ではなく、庭園の中に道ができるような感覚で空間づくりをしていけたらと思います！

グループワーク「想いをカタチに～河畔空間をデザインしよう！」

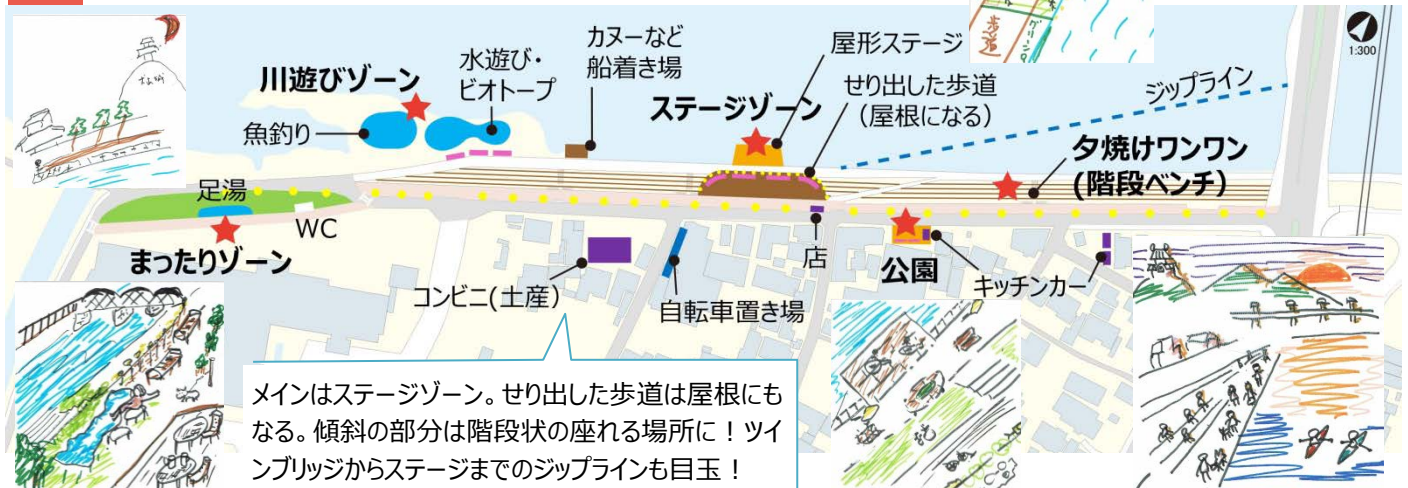
A 緑と光の共存

- 緑地 ■ 芝生 ■ デッキ ■ 水場 ■ 憩い (ベンチ・テーブル) ■ お店 ■ 照明
- 広場 (ステージ・映画鑑賞など) ■ 乗り物 (自転車・車など) ★ イチオシポイント



河畔に入りやすくするため、両端を広げられたらいい。ワイヤーのフェンスの天板から間接照明を。とところどころ歩道を広げてキッチンカーも停められるような空間をつくり、車のスピードを抑えたい。

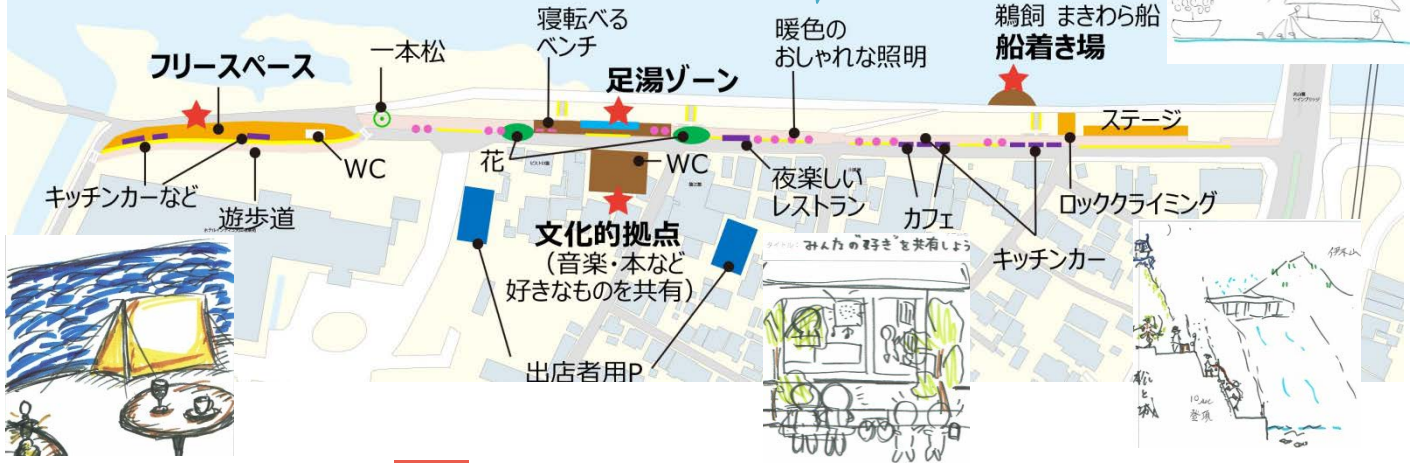
B 川辺で遊ぼう!!



メインはステージゾーン。せり出した歩道は屋根にもなる。傾斜の部分は階段状の座れる場所に！ツインブリッジからステージまでのジップラインも目玉！

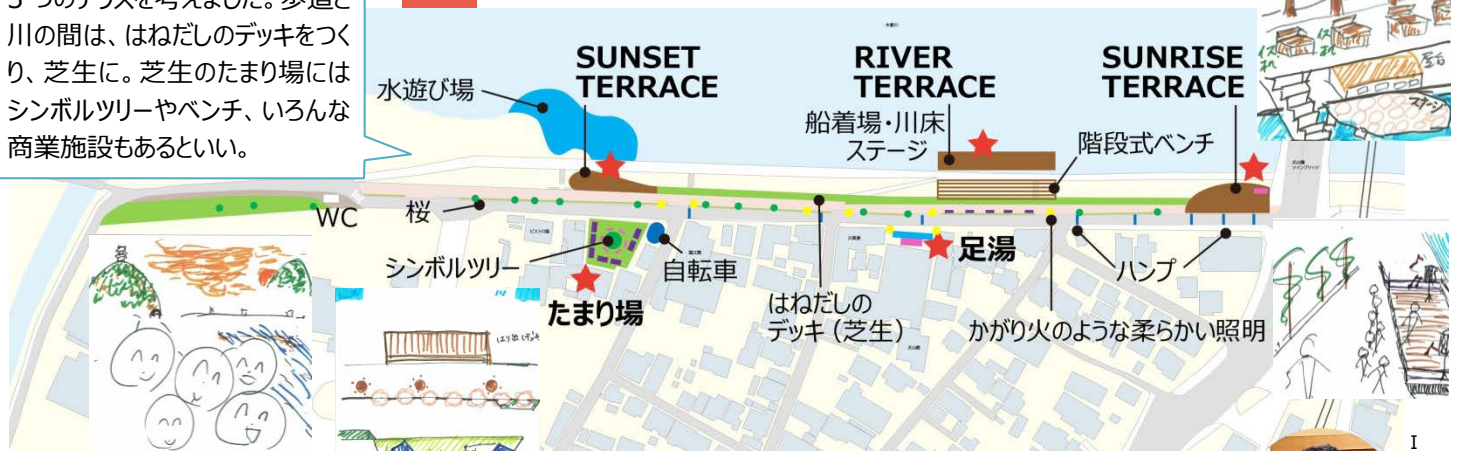
C 水の流れと人の流れ

観光客や市民を巻き込んでじっくり楽しめる場所を。人をどう惹き付け人の流れを作るかを考えました。



眺望を大事にしたいということで、3つのテラスを考えました。歩道と川の間は、はねだしのデッキをつくり、芝生に。芝生のたまり場にはシンボルツリーやベンチ、いろんな商業施設もあるといい。

D KISOGAWA TERRACE



山田市市長

講評

Aの光＝演出、Bの遊び＝コンテンツ、Cの流れ＝回遊性、Dのテラス＝ラテン語で高台・盛り土。4グループのコンセプトにキーワードがバランスよく入っていてすごいと思いました。共通のキーワードとして出た張り出しデッキ、船着き場、光、足湯、広場・ステージも重要な要素。構想につながる非常に重要なヒントをいただきました！



IDECC大森さん

共通していたのは、夕方から夜の魅力づくりが大事ということ。またどのグループも臨江館付近が大事だと言っていて、ここから始めていくのもいいかなと思いました。段差をどう処理するかもポイント。川側と宅地側が一体となってまちづくりをしていくことが重要！



ひとことアンケートより 視点に共通点が多くあり、デザイン案が楽しみです／全員の河畔愛が感じられた！／若い方、地元の方も参加があったので良かった／あたたかい方ばかり。犬山はもっと良くなると希望を感じました！！ ほか

河畔 de カタリーヴァ④

11月30日(水) 19:00～
@臨江館
「河畔 de おためし大作戦！」
実証実験の企画をします！

河畔 de カタリーヴァ⑤

1月25日(水) 19:00～
@臨江館
「おためし PROJECT 発表会」
実証実験のふりかえりをします！

新規参加者大募集！

対象は、内田地区住民、内田地区に関わりのある方。右記までお申し込みください！

犬山市役所 経済環境部 観光課 (小澤)

電話：0568-44-0342 (土日祝のぞく)

メール：040500@city.inuyama.lg.jp



犬山市のホームページで、河畔 de カタリーヴァのチラシや過去の内容をご覧ください ↑